

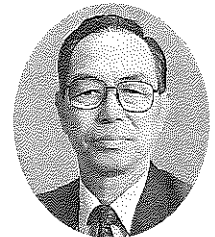
広報

むせんとう

発行・編集／相双地区電気工事協同組合
編集担当 総務委員会
〒975-0033 福島県原町市高見町2丁目7番地
TEL (0244) 22-1951(代)

11
1

No.17



新年のご挨拶

相双地区電気工事協同組合

理事長 谷津田 倫 幸

新年明けましておめでとう
ございます。平成十一年の新春
を迎え皆様の益々のご繁栄
とご健勝を心からお喜び申し
上げます。

昨年は組合創立五十年の節

目の年であり組合員の皆様には
寛大なるご理解とご協力を
賜り、創立五十周年記念祝賀
会を、盛会に終了出来ました
事を心よりお礼申し上げます。

また昨年は異常な年と思わ
れる長雨と、低温続きで真夏
日がなく過ぎ、更に豪雨によ
る大きな被害となり、日本列
島はまさに水浸しと言える異
常な年でありました。また長
引く不況に加え官僚や政治家
の不祥事など、更には和歌山
のカレー事件等まさに激動の
年でありました。

昨今の経済情勢は過去五十
年間例のない非常に厳しい経
済環境であり、個人消費や設

備投資等、民間消費の低迷が
続き更には、海外の景気減速
の懸念や為替ルートが大きく
動いた事もあり、経済の先行
きに対する不透明感が依然強
いように思われます。

又、私共中小企業者は大企
業とは比較対象にならない程
苦しい経済環境であり電気工
事業もご多分に漏れず消費の
鈍化や設備投資の不振等、低
迷が続く市場では、過当競争

や想像を絶する価格破壊へと
進んでおり、誠に憂慮すべき
悪循環の中で推移している
ところであります。

しかしながら一般電気工作
物の電気保安責任は、電気の
知識に乏しい一般消費者に移
行され、業界としてより一層
責務が要求されて参りました。

電気設備から生命財産を守る
意味からも、共同保守管理業
務を積極的に推進し、安全に

使用する保安確保と基本理念
に基づいて社会に貢献すべく
事業を展開し、地域産業の振
興発展に日夜努力し社会生活
に密着した、電気をより良い
ものとし安心して、使用出来る
設備を提供する事が、私共電
気工事業者の務めと考え、社
会的地位の向上を図りながら
活動を行っているところであ
ります。

私共電気工事業の分野を二
十一世紀に向けて展望してみ
ますと、社会構造の変化を踏
まえ、より一層の利便性、快
適性更には安全性等の要請に
対応し、電気を持つ優れた特
性を生かした提案活動を展開
している所であります。エネ
ルギー源として電気が、今後
益々選択されていくものと考
えられます。

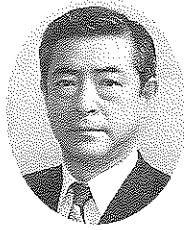
又、マルチメディア時代を
前提とした高度情報化社会の

伸展に伴う、ハイテク技術或
いは省エネ技術をして、通信
関係を含めた電気設備工事を
中心に伸展されるものと思わ
れます。

私共は、この様な状況を踏
まえて新技術の習得と生産性
向上を基本とし、経営の近代
化或いは労働環境の改善、高
度な技術とハイレベル資格を
有する後継者や、若年層の技
術者の育成に努め技術集団と
して、組合員の英知を結集し
役員を始め組合員との団結と、
更には老後の生活安定に最も
重要な各種年金基金加入促進
を図り、より強固なものとし
て今後とも、経営の効率化を
徹底し二十一世紀に向け、継
続的な地域振興の発展と微力
ながら地球環境の問題と合わ
せて、電気工事を通じて共に
最大限の努力を果たす所存で
あります。

皆様方には組合事業に尚一
層のご協力をお願い申し上げます、
組合員各自のご繁栄と、ご多
幸をご祈念申し上げ新年の
挨拶と致します。

年頭のうあいらつ



東北電力(株)原町営業所

所長 梅津 健次

組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて昨年の東北の夏は、豪雨と冷夏に見舞われ、長びく景気の低迷に拍車をかけた思いをさせる一年でした。

しかし同じ国内であっても九州・西日本地方では、水瓶が底を突くほどの酷暑が続き、海外でもアメリカやヨーロッパなどいわゆる北極圏では寒波に、また南極圏では熱波にそれぞれ見舞われました。

特にアメリカのイリノイ州やオハイオ州など中西部では、

六月始めには熱波に襲われ需給ひっ迫によって卸電力取引

き価格が百倍に高騰するなど、自由化の『実験場』アメリカ

の電力市場は混乱の夏を過ぎましたと報じられておりました。

このような異常気象の元凶が、昨年南米ペルー沖で発生

したエルニーニョ現象と因果関係があったのかどうかについて素人の私には分かりませんが、現象面で見ると限り三ヶ月

以上も居座り続けている間、地球上のあちこちで寒波や熱波、台風、ハリケーン、山火事など、世界の至る所で天災なるものを引き起こしましたし、また今もその余波と申しまじょうか世界のいたるところで異常気象が続いているように思えてなりません。

ところで異常気象と言えば、一九九六年にアメリカ東部を襲った大豪雪、一九九〇年に

ノースカロライナ州で起きたハリケーン襲来等は、被害が甚大であった事で大変有名な

話ですが、私の記憶ではその時の被害の大きさもさる事ながら、大雪やハリケーンで

大停電が起り、そしてその後(十ヶ月)に必ずといって

もいい程一時的にベビーブームが起きていたということ

あります。また異常気象と直接関わりはありませんが、一九六五年

にアメリカのニューヨークで大停電がありました。その時も後でベビーブームが起きたと言われております。

この様な現象がある人は、『自然の摂理のたくらみというか、それとも人間の営みの

かなしさというか』と表現されておりましたが、外は大雪

内は停電で真っ暗闇となれば何もすることがない。結局は、

人間的な時間を共有した結果、一時的にベビーブームが起きたと思われのですが、あまりにも飛躍した考えでありま

しょうか。ところでわが国では、年々高齢化が進んでいると同時に、

少子化の問題、いわゆる出産ストライキをする女性が増え、

晩婚、非婚がますます進んで少子化に歯止めがかからない

ということが既に現象として起きております。そしてこのまま出生率(現

在、年間一〇万人程度)が低下し続けると、わが国の人口は百年後の二十一世紀末に

そうであります。

出生率が低下するということは若年労働者が減少するということであり、将来も含めた日本経済の運営に大きな影響があるのではないかと懸念されております。

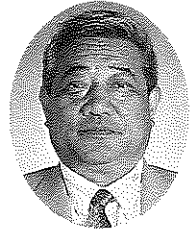
そこで私は、これまでの自然災害での経験から、少子化の歯止め策は『停電』にあると半ば冗談に半ば真剣に考えるのですが、一方で電力市場の完全自由化は、すぐ目の前まで迫っております。

これからは価格が安い事は勿論の事、停電の少ない良質で安定した供給がこれまで以上に大切であり、そのことが当社を信頼し選択して頂ける企業になると思っております。

停電は、少子化対策になるかもしれないませんが、企業として生きていくには、些か暴論であったようです。初夢と思

い流す事と致します。皆様の今年一年のご隆盛、ご健勝、ご多幸を心祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

激減すると試算する人もある



技術経営委員長

鈴木 昭 一

新年明けましてお目出とう御座居ます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて近年、不況の最中、我々電気工事業界も御多分に漏れず、活気の無い現況にありませぬ。こんな状況下にあっても、相双地区の組合員の方は一社も欠ける事が無く、平成十一年度を迎えられる事は、大変よろこばしい事と存じます。しかしながら、私共業界の

今後は、更なきびしい状態が続き、仕事の絶対量が半減化するのとは当然のこと、労働時間の短縮や、社内の福利等、リストラの出来ない事項も考慮しながら、出づるを抑え、企業の生き残りを考えて行かねばと存じます。

れてまいります。

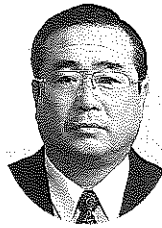
個人の電気設備の保安も大切な事ですが、なによりも、官公庁の低圧設備の電気保安は、行政側も種々な面で危惧して居るところであり、一度事故が発生すれば、一般市民へも災害が及ぶ事は必然であります。我々保守技術員が、この種の災害の防止に努める事が、地域の配電工事業者の責務であろうと思ひます。

業務には、電機等や工具、重機等も必要なく、簡易なテスター類が数台あれば良く、あとは保守技術員の資格者が居れば業務は出来るのです。二月や三月は、予算の策定もあり、活動適時かと思われ

ます。目標の第二は、災害や事故の撲滅です。いかに経営が堅実であったとしても、一度事

故が発生しますと、その事業所に対する、マイナスの波及は計り知れないものがあり、企業の信用も大きく失墜致します。第三者災害保険等の加入をして防護策を取っておくと共に、社員一人一人の再教育を行い、事故に対する予知力を各自、身に付けて、未来の有る事業所として、組合員

が明るく前途ある業界に全員が明るく前向きな業界にして行きたいと思ひます。よろしく御願ひ致します。



厚生事業委員長

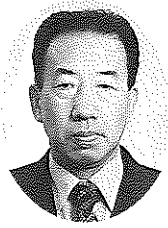
渡 辺 光 夫

新年明けましておめでとうございます。新しい年の始めに当たり、組合の皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。昨年は、景気低迷の状況の下、組合創立五十周年記念事業を業界再発展のスタート

の年と位置づけ、全組合の英知を結集して、新たな五十年の歴史を構築していききたいと各界各層の出席の元おちかい申し上げ実行委員会始め関係各位の御協力によりまして開催されました。また厚生事業委員会におきましては、国民年金基金、厚生年金基金の加入促進、各種受験に向けて講習及び、技術講習会、組合親睦ゴルフ、釣大会及び研修旅行等実施してまいりました。これもひとえに、委員会始め組合員の皆様の組合に対する御支援、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。さて内外と

も大きな転換期を迎えている中めまぐるしい変革での業界はどうあるべきか、明日の業界に上るために、景気低迷に伴う停滞感からの脱皮に向けて新たな業界像が求められています。これまでのような経済発展が望めないバブル崩壊後の時期であり、新たな変革に対応するには、意識の切り替えが必要で、人材の質的向上も求められていると思ひます。人材確保や魅力ある職場づくりの為に「一業界のかじとりは自分で、自覚すれば何かが変わるチャンスです。」本年が組合員の皆様にとって明るい年となりますよう全力を尽くしてまいりますので今後とも、一層の支援とご協力をお願い申し上げます。





総務委員長

早川 武 邦

新年明けましておめでとう
ございます。組合員の皆様方
には平成十一年の希望に満ち
た新春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

さて、まもなく新たな二十
一世紀を迎えようとしており
ますが将来に明るい展望と切
なる願いにもかかわらず我々
建設業界を取り巻く情勢は容
易ならざるものがあります。

昨年は依然として景気上昇の
兆しが見られず、先行き不透
明感を払い拭いきれないまま
の年越しとなりました。不良
債権にはんを発する金融機関
ゼネコンの経営不安や企業倒
産の増加、更に市場では設備
投資の鈍化や消費の低迷、加
えて国民の低価格志向は定着
し、我々電気工事業界におい
ても常識をはるかに越える過
当競争や価格破壊が一段と顕

在化しており極めて厳しい環
境の中で推移しております。

この様な中で当相双地域に
つきましては本年度からの常
磐高速道の着工に伴って明
い兆しが見えて来るのではな
いかと思えます。そして、こ
れを契機と致しまして、相双
地区電気工事組合員の強固な
結束のもとに業界の抱える多

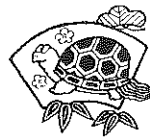


安全対策委員長

八 卷 正 隆

謹んで新春のお慶びを申し
上げます、とともに組合員御
一同様の御多幸を心からお祈
り申し上げます。昨年も皆々
様より安全対策に対し真剣に

取り組まれた結果がそれなり
に出ている様ですが気のゆる
む事なく継続的に災害0を合
言葉に進めていただきたいと
思います。御存知でしょうが



くの諸問題を解決していく所
存であります。皆様におかれ
ましても、一層のご理解とご
支援を賜ります様お願い申し
上げます。

平成十一年度の年間標語を確
認したいと思えます。「人の
輪技術の輪すべてを集めて無
災害」とかく長びく景気低
迷より、ストレスを抱える様
になりがちです。考えて見れ
ば、ストレスにも良いストレ
スと悪いストレスの二種類が
あると言われております。こ
の悪いストレス症候群は、毎
日いやいやながら過ごすこと
や、自分のやりたい仕事が出
来ずうつうつとした時にたま
る様です。人間は不思議なも
ので気持ちを発散させている
うちに何か楽しいことをみつ
けられるような気がいたしま
す。その日によっては楽に過
ごせた、ある日においてはあ
あ苦しかったなどと微妙な起
伏があったりさまざまです。
責任を果たしたときの充実感
がある為に、気持ちの入れ替
えが出来るような気が致しま
す。ストレスにつぶされない
ために、日々の気持ちを切り
換え、又自分なりの楽しみや
快感を増やし充実感に結びつ
く事を願ってやみません、結
果として楽しみを見つけられ

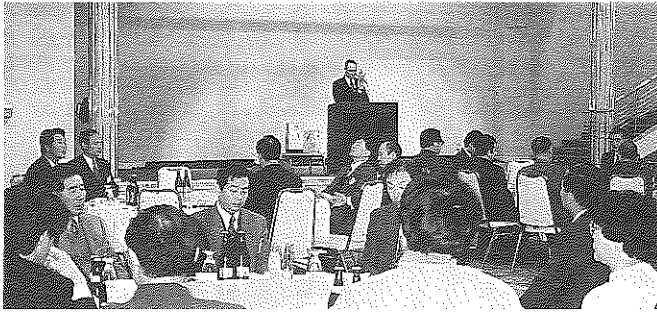


組合新年会開催

平成十一年の組合新年会を去る一月二十一日午後四時より原町ロイヤルホテル丸屋に於いて開催されました。

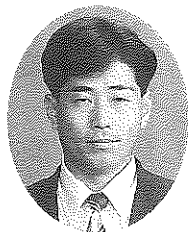
始めに本年の工事安全を願う安全祈願をとり行い、続いて谷津田理事長のあいさつ

後、東北電力(株)原町営業所長 梅津健次様と相馬労働基準監督署長羽曾部武敏様よりご祝辞を頂き、全員和やかにお互いの親睦を深めながら盛会に行われました。



組合員 新規加入者 紹介

理事会の承認を得て平成十年十二月一日より加入されました。



株でんきや

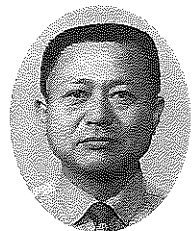
代表 佐々木英夫

〒九七五-〇〇六二

原町市本陣前二丁目

一四一

(〇二四四) 二四一五七七七



(有)サトー電機

代表 佐藤 誠治

〒九七五-〇〇三一

原町市錦町一丁目五九

(〇二四四) 二四一〇一八一



(有)暁電設工業

代表 濱名 徳也

〒九七九-一三三二

相馬郡鹿島町南海老字北町五

(〇二四四) 四六一三五三二

退職挨拶



松田かほる

今度、十二月二十五日 をもちまして相双地区電気工事協同組合を退職致しました。

顧みますと平成二年奉職以来九年間大過なく勤務できましたことは、ひとえに皆様方のご指導ご援助の賜と心から厚く御礼申し上げます。

今後は、在職中に寄せられました皆様の温かいご厚情の数々を思い出し、これからの人生を有意義に送りたいと思っております。

どうか皆様方にもご健康に留意され、益々ご発展されます事をお祈り申し上げますご挨拶に替えさせていただきます。

自動車保険のお知らせ

さて、昨年より当組合においては「**団体扱制度**」を取扱しております。この制度は、組合員及び従業員の皆様が、一般よりも有利な条件の『**現在の保険料より5%引き**』でご加入いただける制度です。

是非とも組合員の皆様には1社1台以上の加入協力をお願いいたします。

貴団体が集金者となることによって、会員企業及びその従業員の皆様が、一般よりも有利な条件で自動車保険にご加入いただける制度です。

制度の特徴

- 1.対象車種は
会員企業の「業務使用車」
役員・従業員の「マイカー」

※対象保険種目は全ての自動車保険
(SAP、PAP、BAP、PD)



- 2.保険料は
一般契約よりも割安
・年払は5%割引

- 4.現在ご加入契約の
無事故割引も継承
(他の保険会社、農協、全労済等含む)

- 3.ご契約時
キャッシュレスで
加入手続き簡単
原則2ヶ月後の後払い

- 5.集団成立の
最低人数は10名
1号契約締結から1年間で10名加入すれば
制度成立
1法人も1名とカウント

**大東京火災の自動車保険に現在ご加入の方、
すべてに『レッカー現場急行サービス』が
無料でご利用いただけるようになりました。**